

教科に関する調査の設問別の分析結果

第1学期期末テスト 9

この夏、あなたが海外旅行をするとして、どこへ行きたいですか。資料(イタリア、ハワイ、オーストラリア、南アメリカの旅行パンフレット)を参考に、あなたのしたいこと、好きなことなども含めて、まとまりのある英文を書きなさい。
(5文以上)

【出題の趣旨】

これまで学習した英語表現を活用して、自分の思いが反映される英文を書かせることによって、場面に適したつながりのある英語を正しく書く力をみる。

【学習指導要領の内容・領域】

「書くこと」(オ)自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章をかくこと。

	正答率
本校	38.1%

解答類型		本校の割合
1	文章が次のいずれかの順序で書かれており、また必要に応じて接続詞や代名詞を適切に使って正しい英文で5文以上書いてある 自分が行きたい場所 そこへ行きたい理由 自分が行きたい場所 そこでしたいこと	0% (0人)
2	類型1において、内容を理解する上で支障のない誤り(例: 綴りの誤り、大文字・小文字の誤り、複数形の誤り、冠詞の誤り等の文法の誤り)が1~4か所ある	38.1% (8人)
3	類型1において、綴りの誤りや文法の誤りが、5か所以上ある	9.5% (2人)
4	類型1の順序で英文を書いていない。	4.8% (1人)
5	類型1, 2において、接続詞や代名詞の使用も含めて文章全体のつながりが不十分である	19.0% (4人)
6	4文のみ書いている	0% (0人)
7	3文のみ書いている	0% (0人)
8	2文以下で書いている	19.0% (4人)
9	上記以外の解答	4.8% (1人)
0	無解答	4.8% (1人)

この問題を解くために必要な力

- ・ これまでに学習したことを活用して一つ一つの正しい英文を書く力
- ・ be going to~ (または want to~) を用いてこれからの予定やしたいことを表現する力
- ・ because または want to~ を用いて、その旅行先に行きたい理由を表現する力
- ・ 接続詞、副詞や代名詞にも注意して、話題についてつながりのある文章を書く力

誤答分析

解答類型4, 5について < 英文のつながりに関する課題 >

- ・ 求められた内容になるように、話題の順序を考え、接続詞・副詞や代名詞にも注意してつながりのある英文を書くことができていないと考えられる。また、つながりのある英文を書くための前提として、解答類型8, 0が示すように、英文の量に関する課題も関連があると考えられる。つながりのある英文を仕上げるためには、ある程度の英文の量が必要となるが、2文以下ではつながりのある英文にならない。

解答類型2, 3について < 英文の正確さに関する課題 >

- ・ つながりのある文章が書けているかどうかにかかわらず、基本的な文の決まりに基づいた正確な英文を書くことができていないと考えられる。

調査結果の分析をふまえた指導改善のポイント

【単元名】 Unit 6 20th Century Greats (第3学年)

調査結果からみる課題

【課題となる力】

基本的な文の決まりに基づいた正確な英文で、接続詞・副詞や代名詞にも注意して話題としてつながりのある一定量の英文を書く力。

【指導上の課題】

一貫性のある文章を書くために、基本的な文の決まりに基づいた正確な英文を書かせる指導が不十分である。また、求められた内容になるように、話題の順序を考え、接続詞、副詞や代名詞にも注意してつながりのある一定量の英文を書かせる指導が不十分である。

指導改善のポイント

正確な英文で、接続詞、副詞や代名詞にも注意してつながりのある一定量の英文を書かせる

【指導の工夫】

接続詞や副詞を用いたり、また代名詞にも注意してつながりのある正確な英文を書かせる。

の指導の後、テーマに沿った英文を書かせる場面を、授業時間の中に位置づけることによって、学んだポイントを生かして一貫性のある一定量の正確な英文を書く練習をさせる。

これまでに学習した接続詞や副詞のうち、特に文の連結にかかわる次の語を用いて、提示された英文と意味がつながる英文を書かせることによって、内容的につながりのある2文を書く練習をさせる。

接続詞 : but (しかし), so (だから), because (～なので)

副詞 : too (～も), then (それから)

- 1 I like music very much. (), too.
- 2 I went shopping in the morning. Then ().
- 3 I was tired yesterday. But ().
- 4 I like fall because ().
- 5 It was cold yesterday. So ().

の練習で用いた接続詞や副詞を必要に応じて用いて、「私の大好きな人物、尊敬する人」の紹介の英文を書かせる。

中学校第3学年 英語科学習指導案

単元名： Unit 6 20th Century Greats (第3学年)

- 1 日時 平成21年11月10日(火) 5校時(13:20~14:10)
- 2 場所 3年生教室
- 3 学年 第3学年(男子9名 女子13名)
- 4 単元名 Unit 6 20th Century Greats

単元について

本単元では、これまで学習してきた一連の英語の修飾表現として、接触節と主格と目的格の関係代名詞を扱う。修飾語と被修飾語の関係が日本語と英語では逆であり、生徒にとって理解も表現も難しい単元である。

内容としては、20世紀の偉人の一人として、環境問題に関する草分け的存在であるレイチェル・カーソンの生涯と業績についての情報を読みとることと、読みとった情報をもとにレポートを書くことをねらいとしている。

調査結果からみる課題

<誤答分析から>

調査設問に対する正答率は38.1%であるが、完全な正答は0%である。この結果をさらに詳しく分析してみると、2つの課題があるといえる。

一つは、解答類型4, 5の誤答(23.8%)に表れているように、英文のつながりに関する課題があると考えられる。求められた内容になるように、話題の順序を考え、接続詞・副詞や代名詞にも注意してつながりのある英文を書くことができていない。また、つながりのある英文を書くための前提として、解答類型8, 0の誤答(23.8%)に表れているように、英文の量に関しても課題があると考えられる。つながりのある英文を仕上げるためには、ある程度の英文の量が必要となるが、2文以下ではつながりのある英文にはならない。

もう一つは、解答類型2, 3の誤答(47.6%)に表れているように、英文の正確さに関する課題があると考えられる。つながりのある文章かどうかを問題にする以前に、一つ一つの英文を基本的な文の決まりに基づいて正確に書くことができていない。

<指導上の課題>

一貫性のある文章を書くために、次の2点に課題があると考えられる。

求められた内容になるように、話題の順序を考え、接続詞、副詞や代名詞にも注意してつながりのある英文を書かせる指導が不十分である。

学習した文型を用いて基本的な文の決まりに基づいた正確な英文を書かせる指導は毎日のプリント学習の中で行っているが、必要な単語がすぐに出て来なかったり、文法的な誤りがなくならず、十分な指導ができていないとは言えない。

指導改善のポイント

(1) 指導内容・指導方法について

これまでに学習した接続詞や副詞のうち、特に文の連結にかかわるものを取り上げて再指導する。そして、それらの語を用いて、代名詞にも注意して提示された英文と意味がつながる英文を書かせることによ

って、内容的につながりのある2文を書く練習をさせる。

ウォーミングアップで行うQ & Aのペアワークにおいて、相手の答えに対して内容的に関連のある質問を返す練習を取り入れることによって、内容的に関連のある話題を展開する練習を英文を書く時だけに行うのではなく、英語の様々な場面において練習させる。

テーマに沿った英文を書かせる場面を、授業時間の中に位置づけることによって、学んだポイントを生かして一貫性のある文章を書く練習をさせる。

T - Tの授業形態を生かして、ワークシートに書かせる際に生徒の解答を細かくチェックし、文法的な誤りに対してはどこが違うのかを考えさせ、自分の力で正確な英文を書く習慣を定着させる。

(2)「ことばの教育」との関連

ワークシートで、学習した文型の英作文をする場面

..... 主語を明らかにして書く力

与えられたテーマから、つながりのある英文を作る場面

..... 情報を正しく伝える技術

単元の目標

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 学んだ表現などを積極的に使って英語を話そうとする。 辞書を用いたりして、意欲的に自己表現しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 8文で自分の伝えたい内容を伝えることができる。 正しい強勢や区切り、イントネーションなどを用いて音読できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話された情報について正しく聞き取ることができる。 書かれた情報について正しく読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題に先駆的な役割を果たしたレイチェル・カーソンの生涯について理解する。 接触節の用法を理解し、それを用いて正しく英文を作る。 関係代名詞の用法を理解し、それを用いて正しく英文を作る。

指導と評価の計画

(全15時間)

次	学習内容(時数)	評 価				評 価 規 準	評価方法
		関	表	理	知		
—	Starting Out ・接触節の形と意味と用法を理解し、正しく英文を作る練習をする。 (2)					・接触節の用法を理解し、それを用いて正しく英文を作ることができる。	ワークシート
	・学んだ表現を生かして、自己表現をする。 (1) 【本時3 / 3】					・辞書を用いたりして、意欲的に自己表現しようとしている。 ・8文で自分の伝えたい内容を伝えることができる。	活動観察 生徒作品
	・新出単語、語句、表現の理解をする。 ・本文の内容理解と音読練習をする。 (1)					・学んだ表現などを積極的に使って英語を話そうとしている。 ・正しい強勢や区切り、イントネーションなどを用いて音読できる。	活動観察 活動観察

二	<p>Dialog</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞 who を用いた文の形と意味と用法を理解し、正しく英文を作る練習をする。(3) 				<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞の用法を理解し、それを用いて正しく英文を作ることができる。 	ワークシート
	<ul style="list-style-type: none"> 新出単語、語句、表現の理解をする。 本文の内容理解と音読練習をする。(1) 				<ul style="list-style-type: none"> 正しい強勢や区切り、イントネーションなどを用いて音読できる。 話された情報について正しく聞き取ることができる。 	<p>活動観察</p> <p>活動観察</p>
三	<p>Reading for Communication</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞 that, which (主格) を用いた文の形・意味・用法を理解し、正しく英文を作る。(2) 				<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞の用法を理解し、それを用いて正しく英文を作ることができる。 	ワークシート
	<ul style="list-style-type: none"> 新出単語、語句、表現の理解をする。 本文の内容理解と音読練習をする。(1) 				<ul style="list-style-type: none"> 書かれた情報について正しく読み取ることができる。 環境問題に先駆的な役割を果たしたレイチェル・カーソンの生涯について理解している。 	<p>活動観察</p> <p>ワークシート</p>
四	<p>Reading for Communication</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞 that (目的格) の形・意味・用法を理解し、正しく英文を作る。(2) 				<ul style="list-style-type: none"> 学んだ表現などを積極的に使って英語を話している。 関係代名詞の用法を理解し、それを用いて正しく英文を作ることができる。 	<p>活動観察</p> <p>ワークシート</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 学んだ表現を生かして、自己表現をする。(1) 				<ul style="list-style-type: none"> 辞書を用いたりして、意欲的に自己表現しようとしている。 8文で自分の伝えたい内容を伝えることができる。 	<p>活動観察</p> <p>ワークシート</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 新出単語、語句、表現の理解をする。 本文の内容理解をし、レイチェル・カーソンについてのレポートを完成させる。(1) 				<ul style="list-style-type: none"> 環境問題に先駆的な役割を果たしたレイチェル・カーソンの生涯について理解している。 書かれた情報について正しく読み取ることができる。 	<p>活動観察</p> <p>レポート</p>

本時の学習

(1) 本時の目標

- 辞書を用いたりして、意欲的に自己表現する。
- 8文で自分の伝えたい内容を伝えることができる。

(2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
1 ウォームアップを行う。			
ペアでの会話を行う。 前時の復習 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">T) 接触節を用いて正しい英文を作ろう。</div>	・相手の答えに対して内容的に関連のある質問を返させる。		
接触節を含む英作文を行う。	・まず自分で取り組ませ、文法的な誤りに対してはどこが違うのかを考えさせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-left: 40px;">主語を明らかにして書く力</div>		
2 接続詞や副詞を用いて、内容的につながりのある英文を書く練習をする。			
次の接続詞と副詞の意味を確認し、それらの語を用いて、提示された英文と意味がつながる英文を書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 I like music very much. (), too.</p> <p>2 I went shopping in the morning. Then ().</p> <p>3 I was tired yesterday. But ().</p> <p>4 It was cold yesterday. So ().</p> <p>5 I like fall because ().</p> </div>	・TTを生かし、内容的につながりのある英文かどうかを確認する。		
書いた英文を発表する。			
3 「私の大好きな人物、尊敬する人」を紹介する英文を書く。			
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px;">T) 辞書を用いたりして、「私の大好きな人物、尊敬する人」について、8文を目標に英文で表現しよう。</div>			
出だしの英文の確認をする。 T2が模範例を紹介する。続きの英文を作る。 班内で交流し、代表が全体で発表する。	・接触節を用いて英文を作らせる。 ・接続詞等を必要に応じて用いて、つながりのある英文を書かせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-left: 40px;">情報を正しく伝える技術</div> ・TTを生かし確認する。	・辞書を用いたりして、意欲的に自己表現しようとしている。 ・8文で自分の伝えたい内容を伝えることができる。	活動観察 生徒作品
4 今日の振り返りと宿題の確認をする。			
今日の授業を振り返り、宿題を確認する。	・今日の授業について評価する。		

